

事務事業計画シート					所管課		社会福祉課			担当班	障害福祉班		
事務事業名		コード	11400	福祉タクシー利用助成事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	☒ 主な事業		
施策体系	基本施策	9			一般	3	1	2	☐ 国土強靱化地域計画				
	施策の展開	20		障害者福祉の充実	根拠法令	旭市福祉タクシー利用助成事業実施要綱					☐ 新市建設計画		
				障害者福祉の推進	戦略事業	101	福祉タクシー利用助成事業					☐ 定住自立圏構想	
	施策の展開				戦略事業							☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで		身体障害者手帳1級、2級、3級(3級は視覚、下肢、体幹のみ)、精神障害者保健福祉手帳1級、療育手帳OA、OAの1、OAの2、Aの1、Aの2の等級で市内に住所を有する方に、タクシー乗車の際に金券と同様に利用できる利用券を交付し社会参加の促進を図る。 【利用券】1枚1,000円のタクシー利用券を年間24枚(腎臓機能障害の方で、かつ透析治療者は年間96枚)を交付する。【利用方法】利用者はタクシー乗車時に券を運転手に渡し(1回につき1枚まで)、1,000円を差し引いた金額を支払う。 タクシー業者は、翌月市へ請求する。市は助成金と協力金1件100円を合わせて支払いをする。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
開始時期は不詳だが、合併前より1市3町で実施されていた。		令和元年度よりタクシー業者へ支払う協力金を150円から100円に減額した。	利用する距離によって、1回の乗車で2枚使いたい。また500円の利用券を作ってほしいなどの声が一部にある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算)		単位:千円					
1. 需用費	55	印刷製本費					
2. 扶助費	7,587	福祉タクシー利用助成金					
② 特定財源の内訳(2年度の決算)		単位:千円					
1. 国庫支出金							
2. 都道府県支出金							
3. 地方債							
4. その他							

費目内訳	事業費	単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
1. 需用費		千円	48	48	55	55	60
2. 扶助費		千円	10,530	9,384	8,604	7,587	8,177
		千円					
		千円					
		千円					
事業費計 (A)		千円	10,578	9,432	8,659	7,642	8,237
1. 国庫支出金		千円					
2. 都道府県支出金		千円					
3. 地方債		千円					
4. その他		千円					
5. 一般財源		千円	10,578	9,432	8,659	7,642	8,237

従事職員数 常時 1 人 最大 1 人 × 24 日 = 延べ 24 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 通院又は会合等のためタクシーを利用する場合に、その料金の全部又は一部を助成する。	ア 福祉タクシー券交付者数	人	486	461	456	434	429
		イ						

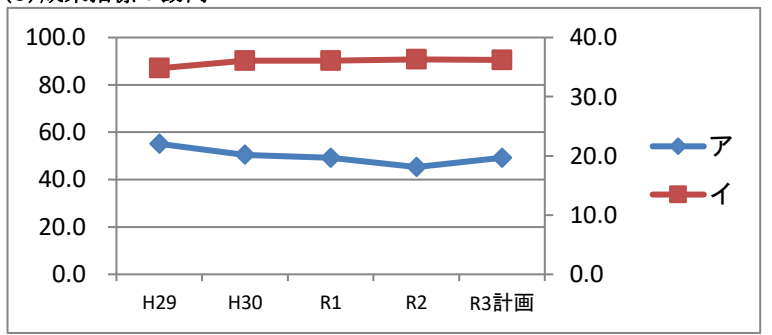
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	対象 身体障害者手帳1級、2級、3級(下肢、視覚、体幹のみ)、療育手帳OAの1、OAの2、OA、Aの1、Aの2でありかつ旭市内に住所を有するもの。 意図 助成券を交付することにより、対象者が通院や外出等の移動にかかわる負担費の軽減と地域生活へ参加しやすくなる。 対象 意図	ア 利用率(利用枚数合計/交付枚数合計)	%	55.1	50.5	49.2	45.3	49.2
		イ 1人あたりの利用回数	回	34.8	36.1	36.1	36.3	36.2

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい 普通 小さい	成果向上余地			評価結果
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	

評価結果	① ② ③ ④⑤ ⑥ ⑦⑧ ⑨	コスト比率		
		下位1/3	中位1/3	上位1/3

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐完了 ☐順調 ☒概ね順調 ☐停滞 ☐実施困難												
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)													
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	比較 成果動向	28年度 29年度	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3計画
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	ア. タクシー券交付者の利用が少なかったため。								ア	Δ2.0	Δ4.6	Δ1.3	Δ3.9
					数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	イ	2.3	1.3	0.0	0.2	Δ 0.1
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☐拡大 ☐縮小 ☒現状維持 ☐廃止・休止 ☐見直し ☐その他()								
	R3.4.1～	精神障害者保健福祉手帳1級所持者に手帳交付時にタクシー券利用を促す。				福祉タクシー券の利便性を考慮し、1,000円券から500円券への変更や1回の助成額を1,000円から1,500円に変更するなどの検討を行う。								